

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	特定非営利活動法人サラマンドフの会
活動タイトル	“ケニアの国立公園内でのフィールド学習を通じた、野生動物の保護のための、地域住民への環境教育”
活動地域	ツァボ地域（ツァボ国立公園とその周辺地域）



4月1日 学童教育ツアー事業。



7月15日 学童教育ツアー事業。



9月9日 卒業生フィールドワーク事業。

【団体概要】

アフリカの野生動物保護の理解を地域住民から得るために、野生のゾウとのトラブルのある村落を中心に、その地域の小学生と卒業生に国立公園でのフィールド体験の教育ツアー支援などを行っています。会員の会費と寄付を基盤に、貴財団からの助成金の力添えを頂いて活動を続けています。

【活動の目的・目標】

野生動物とトラブルのある国立公園周辺の地域住民が野生動物の保護を通して、里山コモンズの保全イメージを確立するために、小学生への教育活動支援により、家族を通じたコミュニティーへの浸透を促し、卒業生への環境教育により、次世代に伝達するための継続支援を目指す。

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

円安と現地での物価高の変動が激しく、それに対応する調整に苦労した。参加人数の調整やレンタル料の調整をしつつ自己負担で対応した。インフルエンザ等の感染症の流行など、当日の病気による欠席が出た。病欠に備えての参加者補欠を待機させておく必要もあと次回以降の検討課題となった。

【活動の内容・成果】

開催回数：4回

参加人数：112名

達成率：4回/5回=80%

「学童教育ツアー事業」
ツァボ国立公園でのフィールド観察（大型バス利用）

4月1日 35名

7月15日 35名

7月29日 30名

それぞれの村落の小学生のワイルドライフ・クラブのメンバー合計100名が参加し、野生動物の本来の生活をフィールド体験により学んだ。

「卒業生フィールドワーク事業」

9月9日～11日

選抜された小学生ワイルドライフ・クラブの卒業生（成人）12名が参加。

ツァボ国立公園でのキャンプ体験を含むフィールドワークを通じ、指導者としてのスキルを高めた。

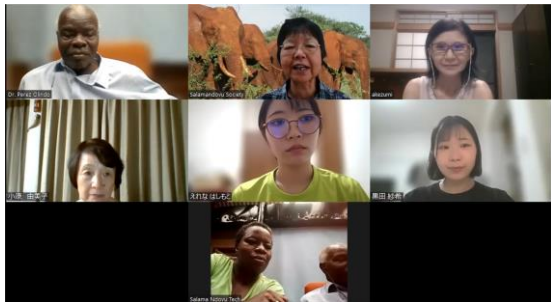
第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



8月12日 「学童教育ツアー事業」
ビリカニ・ライブラリーで開かれたスピーチ・コンテスト。教育ツアー参加者から選抜された12名が発表。5名の審査員（ワイルドライフクラブの顧問など）と30名の学童が出席。



8月28日 「卒業生フィールドワーク事業」
国立公園でのキャンプ滞在に先立って、講師のオリンド博士と、ケニアのスタッフと日本のサラマンドフの会のスタッフで ZOOM ミーティングを行った。



9月15日 「学童教育ツアー事業」
教育ツアーを体験した子供たちは、国立公園のように居住地でもごみを削減しようと、野生動物にも家畜にも有害なプラスチックごみの回収を定期的に行って、住みやすい里山つくりのためにも活動している。



9月16日 「卒業生フィールドワーク事業」
キャンプ滞在終了後、まとめの講義とフィールド学習について簡易試験を行い、事業の効果を高めた。